

2025  
令和7年

12月

# まとがた 公民館だより

E-mail:matogata@hi-net.city.himeji.hyogo.jp



第373号

姫路市立的形公民館  
姫路市的形町的形1358-4  
☎(Fax)(079)254-3293  
休館：月曜日 文責 三木裕之

散りそびれた紅葉に舞い降りるひとひらの風花に冬の到来を感じる時季となりました。今年はインフルエンザの流行の時期が早く、また12月から厳しい寒さが来るとの予報がありますので服装や体調管理にご留意ください。

さて、先月の学習発表会は、大勢の方にご来館を賜り盛況裡に終了いたしました。ご多用の中お越しくださいまして誠にありがとうございました。

いよいよ年の瀬慌ただしい師走が始まります。皆様の日頃の温かいご支援とご協力に感謝を申し上げますとともに健やかな新年を迎えられますようお祈りいたします。



日	曜	行事予定	12月	的形公民館 師走寄席	無料
2	火	季節のはがき絵教室	開演 2階会議室 十二月七日(日) 十三時三十分	「一、笑ヶ原亭一二園 二、ペナル亭桃太郎 大安売り」	「的形公民館寄席 落語会 ぶろぐらむ」
3	水	手描き友禅 こども書道教室		観覧ご希望の方は的形公民館☎254-3293までご連絡をお願いします。	
4	木	洋裁		「美いは 劇作用のない 美いは いちばんの 美いは 美いは」	
5	金	なかよしランド 自彌術 茶道教室1			
6	土	太極拳 茶道入門A・B 手芸 こども書道			
7	日	落語会 連合自治会			
9	火	お話の会 ハワイアンフラ 里山会			
10	水	まとがた広場 こども書道 あげは 民生委			
11	木	健康体操 洋裁 文化箏			
12	金				
13	土	書道・こども書道 囲碁 里山会 手芸			
14	日	手作りパンB・A 着物着付教室			
16	火	スマホ教室 季節のはがき絵教室			
17	水	こども書道			
18	木	健康体操 洋裁			
19	金	的形小6年お茶会 茶道1 童コーラス 自彌術			
20	土	太極拳 茶道2・3 パソコン こども書道			
21	日	クリスマスコンサート			
23	火	ハワイアンフラ 里山会			
24	水	あげは			
25	木	健康体操 文化箏			
26	金	童コーラス			
27	土	太極拳 パソコン 囲碁 書道・こども書道			
28	日	休館日	良いお年をお迎え下さい。		
30	火	休館日			
31	水	休館日			
		公民館だよりカラー版は	的形公民館 検索		
月曜日は休館日の為記載していません。 ヒマリちゃん					

## クリスマスコンサート♪

12月21日(日) 無料

開場12時30分

開演13時

的形公民館2階会議室

カルテット はなみずき

Program

～弦楽四重奏の生演奏～

- ラデツキー行進曲
- ジャズ組曲「ワルツ」
- カルメン第1組曲
- 人生のメリーゴーランド
- リベル・タンゴ
- ポール・ウナ・カベザ
- 彼方の光
- アイ・ドリーム・ア・ドリーム
- ホールニューワールド
- J・シュトラウス1世  
ショスタコーヴィチ  
ジ・ヨルジ・ユ・ビ・セー  
久石譲  
アストル・ピアソラ  
カルロス・ガルデル  
松村崇継  
クロード・ミシェル  
A・メンケン

～1月の健康講座のお知らせ～

☆やさしいヨガ☆

無料

健康講座

1月9日(金)

10:00~11:00

2階会議室

インストラクター HARU

ヨガが初めての方でも  
大丈夫ですよ！

1月18日(日)

10:00~11:00

2階会議室

小林 優二 先生

こばやし鍼灸接骨院

実際にお灸をします

的形の郷土史その七  
別所長治公と的形その式



照子肖像(三木市法界寺蔵)

右の古文書は、姫路市木場三木家（本三木家）所蔵

の「別所長治公とその子孫の系図」の中の巻頭から弟友之、治定二人の記述を除き「長治公の正室の子四人」が書かれているところを抜粋したものである。（枠囲み部分）

注目すべきは、四人の子供の記述である。他の三人はそれぞれ法名（妙竹、布西、明千）などが書かれているが、竹松丸にあたるところが名前を伏せ「空頬法師」とだけ書かれている。

乳飲み子であった竹松丸（満1歳）は、長治公の懇願か妻照子の遺志かは不明であるが、当時別所氏の別当として働いていた野脇新三郎とその妻で竹松丸の乳母らによって密かに三木城から落ちていったとの伝説がある。今から445年前の流離譚であり、眞実は誰にもわからない。



空頬坊の墓

長治公の二男「竹松丸」は、的形の伝説の人物である上記の「空頬坊」であり「空頬良譽上人」と同一人物ではないだろうか、という思いを抑えることができない。

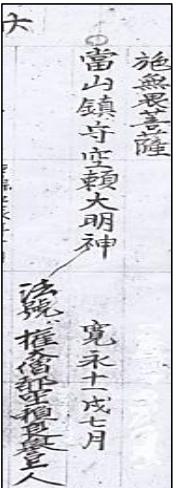
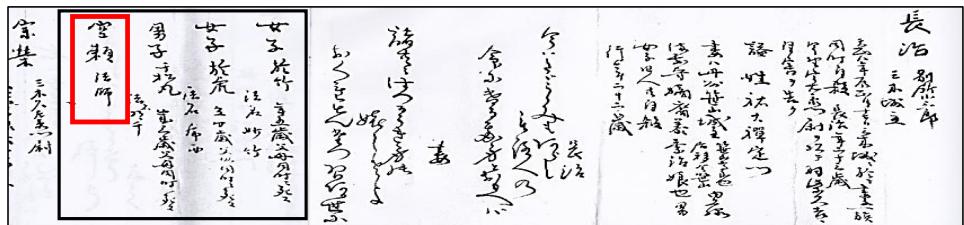
本紙9月号で長治公の側室「於松の局」が久米五郎ら家来とともに三木城から福泊村に落ちのびた顛末を記載したが、「竹松丸」と野脇新三郎ら家来や乳母も同じ伝手を頼って、ともに福泊村に落ちのびたのではないかと考えても不自然ではない。

彼ら落人たちが逃亡先に福泊村を選んだ理由としては、当時の福泊村には、例えれば側室あるいは重臣の生家があるなど、何かの縁故があったと考えられ、また、羽柴方に密告があつても不思議ではない時代において、羽柴秀吉の追討からこれらの落人を福泊の村全体で守り通すべき何らかの深い訳があつたと推測できるのである。

福泊村で成長した「竹松丸」は、やがて海嶽寺に預けられ、豊臣から徳川に移り行く時代の中で別所長治公の嫡子ということを明かすことなく僧侶としての一生を全うしたのではないだろうか。海嶽寺の過去帳から死亡年齢を推定すると享年五十七歳になり、年齢からもこの推測は無理がないと考えられるのである。

「諸ともに消え果つこそ嬉しけれ遅れ先立つ習ひなる世を」  
(夫婦とはいえ死ぬのは後になり先になることが世の常だというのに、私は夫と一緒に死ねるのが嬉しい) この句は別所長治公の正室照子（丹波国篠山城主波多野丹波守秀忠の娘）が詠んだ辞世の句である。

天正八年辰（1580年）正月十七日、羽柴秀吉との三木合戦に敗れ、別所一族は自害して滅亡したのであるが、このとき長治公と正室照子の子で亡くなった者は、当時五歳の竹姫（長女）、四歳の虎姫（二女）、三歳の千代丸（嫡男）、二歳の竹松丸（二男）であった。（出典 別所長治記）



ここからは想像であるが、「空頬法師」と名付けられた

的形公民館俳句作品 令和七年十月 五十音順

なかよしランド

12月5日(金)  
午前10時～  
(申込不要)  
的形公民館2階  
おもちゃでの自由遊び、  
ジア-あわてんぼうの  
サンタクロウス



お 話 の 会

12月9日(火)  
午前10時～  
的形こども園  
講師 樋口尚子先生  
(姫路おはなしの会)  
～的形こども園に  
お申込み下さい～



まとかた広場

12月10日(水)  
午前10時～  
的形公民館2階  
(申込不要)  
講師 稲田尚子先生  
(司書)  
クリスマス会ほか



星月夜最終電車降りてより  
コスマスの道を辿りて古墳群  
太鼓の音夜毎響きて祭呼ぶ  
百才体操皆出席の小六月  
新米を土鍋で炊くや誕生日  
鳥瓜引けば引くほど遠ざかる  
朝日浴び帰港の漁船いわし雲  
逆光の猫じやらしの穂眩ゆけり  
宙に舞ひ太鼓に狂ふ祭獅子

坂の山ご来光拝観一日登山

12月1日(月)  
集 合 柳池公園  
出 発 午前6時20分  
日の出 午前6時50分



令和八年新年ご来光遙拝登山

令和8年1月1日早曉  
集合受付場所 柳池公園  
出 発 時 刻 午前6時38分  
日の出時刻 午前7時 8分  
～お神酒とお菓子の振る舞いあり〼～

石窪昭人  
嶋谷裕美子  
白井のり子  
原英俊  
浜野美枝子  
新浜一代  
古阪ちづ子  
松岡早百合  
橋本正幸